

# 学校施設の長寿命化計画策定に係る手引

平成27年4月

文部科学省



## はじめに

我が国の公立学校施設は、第2次ベビーブーム世代の増加に伴い、昭和40年代後半から50年代にかけて多く建築されたが、それらの施設が今、一斉に更新時期を迎えつつあり、老朽化の波が押し寄せている。

学校施設は未来を担う子供たちが集い、生き生きと学び、生活をする場であるとともに、地域住民にとっては生涯にわたる学習、文化、スポーツなどの活動の場であり、非常災害時には避難所としての役割も果たす重要な施設である。そのため、学校施設の老朽化対策は先送りのできない重大な課題である。

平成25年11月、「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、政府全体として、国民の安全・安心を確保し、中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図る方向性が打ち出された。

これを踏まえ、今般、文部科学省では、所管又は管理する施設の維持管理等を着実に推進するための中期的な取組の方向性を明らかにするため、「文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画）」を策定したところである。

各地方公共団体においても、インフラ長寿命化基本計画に基づき、インフラの維持管理・更新等を着実に推進するための中期的な取組の方向性を明らかにする計画として、「インフラ長寿命化計画」（＝公共施設等総合管理計画）を策定するとともに、個別施設毎の具体的な対応方針を定める計画として、「個別施設毎の長寿命化計画（個別施設計画）」を策定することが求められることとなった。

本手引は、個別施設計画のうち、学校施設を対象とした計画について、盛り込むべき事項やそれらを検討する上での留意事項等を示し、解説したものである。

学校施設の長寿命化計画は、施設の老朽化対策にとどまるものではなく、学校を中心とした地域の将来ビジョンを描くものといえる。地方公共団体等が本手引を幅広く活用しながら、具体性を持った実行可能な計画を策定することにより、地域の明るい未来が創造されることを望む。

平成27年4月

## 目 次

<b>1. 総論</b> .....	<b>4</b>
(1) 学校施設の役割.....	4
①子供たちの学習・生活の場	
②地域コミュニティや防災の拠点	
(2) 老朽化対策の基本的な考え方.....	4
①計画的整備	
②長寿命化	
③重点化	
(3) 学校施設の長寿命化計画とは.....	6
(4) 学校施設の長寿命化計画策定の目的.....	8
(5) 学校施設の長寿命化計画の検討体制.....	8
(6) 計画策定後の公表の重要性.....	9
(7) 本手引の目的.....	9
(8) 適用の範囲.....	9
(9) 用語の定義と解説.....	10
<b>2. 学校施設の長寿命化計画策定の手引と解説</b> .....	<b>13</b>
(1) 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等.....	14
①背景	
②目的	
③計画期間	
④対象施設	
(2) 学校施設の目指すべき姿.....	16

(3) 学校施設の実態.....	18
①学校施設の運営状況・活用状況等の実態	
②学校施設の老朽化状況の実態	
(4) 学校施設整備の基本的な方針等.....	23
①学校施設の規模・配置計画等の方針	
②改修等の基本的な方針	
(5) 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等.....	28
①改修等の整備水準	
②維持管理の項目・手法等	
(6) 長寿命化の実施計画.....	30
①改修等の優先順位付けと実施計画	
②長寿命化のコストの見通し，長寿命化の効果	
(7) 長寿命化計画の継続的運用方針.....	32
①情報基盤の整備と活用	
②推進体制等の整備	
③フォローアップ	

3. 記載事例・参考事例 .....	35
--------------------	----

4. 構造躯体以外の劣化状況等の評価項目例 .....	79
-----------------------------	----

5. 参考資料 .....	85
---------------	----